

互いに高め合う課題学習

—— 研究レポートから模擬授業への試み ——

保健体育科 木ノ本正夫・秦 恵美子・川崎 繁次

平成11年度に示された高等学校学習指導要領の科目保健では、現代及び近い将来のわが国の生活行動や疾病構造の変化、健康問題の傾向等に対応して、WHOの提唱する“人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである”ヘルスプロモーションの考えを用い、生徒自らが健康を求め、より良く生きる実践力を育成することを目指している。

健康や安全について基礎的・基本的なことから理解し、自らの健康課題を認識して解決し、健康の保持増進に努めることのできる能力や態度を養うことが「保健」学習に期待されるものである。その目標に合致した学習内容と計画を考えると、従来の教師主導型授業による保健学習では、基礎的基本的な知識を理解したり、健康に関する科学的認識を得ることには大きな成果が得られると考えられる。また、基礎的な知識の上に、生徒の興味や関心、意欲をさらに引き出し、疑問や好奇心を持って生徒自身が問題を見つけ、学び方や解き方を習得してゆく課題学習では実践力を養えると考えられる。本研究では共通学習である教師主導型授業と併せて課題学習（生徒追求型授業）を展開することが、健康と安全に関する基礎的な知識を広く得た上で、保健学習への興味・感心・意欲をより引き出し、思考力や判断力を養い、健康の管理や保持増進に努める実践力を培うことに有効であるという仮説に基づいて進めた実践研究である。さらに、本研究での課題学習は、課題を設定し、調査研究して課題を解決し、レポートにまとめた上で、模擬授業を実施することで、課題解決のプロセスとその結果をクラスメートと共有しつつ、分析力や判断力等を伸ばすように学習を発展させている。その成果についても、併せて見てゆくものである。

キーワード：課題学習 健康教育 授業研究

はじめに

平成9年（1997）より本校体育科では課題学習を保健授業に取り入れている。平成12年度（2000）は4年目となるが、研究レポートの内容と完成度、生徒の学習全般にわたる自己評価、各模擬授業についての生徒相互の評価、教師自身の授業のふり返り等の見直しとともに、他校の先行事例を学びながら、教師主導型授業での学習内容の検討、課題学習のすすめ方（単元計画、グループ分け等）や評価の観点等についての検討を重ねてきた。その結果、平成11年、12年はほぼ同じ単元計画に基づいて実施している。

- 平成9年度 1・2学年で各1単位履修
- 平成10年度 1学年で2単位履修
- 平成11年度 1学年で2単位履修
- 平成12年度 1学年で2単位履修

年度	教師主導型授業	課題学習による授業
平9	1学年4月～2学年11月 約50時間	2学年3学期 約10時間
平10	1学年4月～10月 約30時間	1学年10月～2月 約23時間

1 研究の目的

高校期では生徒一人ひとりが、生涯を通じて自己の健康を適切に管理し、生活行動や環境を改善していく能力の基礎を培い、実践する能力を育成することが求められている。そのために、本校体育科では保健学習に次のような目的をもって課題学習を取り入れた。

- ①自己学習力を培う——健康の問題や課題を見つける力、学び方や解き方を工夫し習得して解決

できる力を培う。

②個性を生かし育てる——興味・関心・意欲を引き出し、適性を生かして学ぶ力を育てる。

③相互教育力を培う——仲間との学び合い教え合いの関わりから、知識や経験を共有化し、学習をより深くより広くする能力を培う。この目的のもとに、次のような研究の仮説を設定した。

(1) 教師主導型授業と課題学習による生徒追求型授業を実施することで、基礎的基本的な保健学習を習得し、健康や保健への関心が高まる。

(2) 生徒自身が、興味・関心・疑問・適性に応じて課題を設定することにより、学習意欲が高まる。

(3) パートナーやグループでの研究レポートの作成、中間発表、模擬授業の学習活動を通して、互いに学び合い、思考力、判断力を高めるとともに、協力の態度を養うことができる。

2 研究方法

(1) 対象 金沢大学教育学部附属高等学校

1 学年121名

(2) 期間 平成11年4月～平成12年3月

(3) カリキュラム

①共通学習と課題学習

本校の教科保健では、1 学年において2 単位を履修する。平日に1 単位、第2 第4 土曜日を除く土曜

日に2 時間の授業を実施し、合計2 単位としている。平成11年度からは、『教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令』により養護教諭が『保健』の授業を担当する事が可能になった事をふまえ、養護教諭と体育科教諭が指導領域を分担しながら一斉授業を進行している。また、本校では9月に教育実習生を受け入れている為、実習生が担当する領域を考慮したうえ年間計画を立案している。さらに、教育実習が終了し、2 学期の中間試験後からは課題学習を実施し、最終的には模擬授業による発表を行っている。

(4) 平成11年度教師主導型保健実践報告

養護教諭担当領域

1：現代社会と健康

1 健康の考え方

- ・国民の健康水準の向上と疾病構造の変化
- ・健康の成り立ち

2 生活行動と健康

- ・食事、運動、休養と健康

3 精神の健康

- ・大脳と精神機能
- ・心身相関
- ・欲求と欲求不満
- ・適応機制
- ・自己実現

年間学習計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中間試験 期末試験 教師主導型授業 16時間				夏季休業	教師主導型授業 (教育実習) 7時間	中間試験 課題学習 レポート作成(5時間) 中間発表 指導案作り 最終打ち合わせ 授業形式による発表(原則20分)	期末試験		期末試験		

保健体育科教諭担当領域

1：現代社会と健康

4 交通安全

- ・『くるま社会』と交通事故
- ・交通事故の要因と防止
- ・二輪車の交通安全

5 応急処置

- ・倒れている人への対応
- ・心肺蘇生法とその実際

2：環境と健康

1 環境の汚染と健康

- ・大気汚染と健康被害
- ・水質汚濁と健康被害
- ・土壌汚染と健康被害
- ・健康被害の防止
- ・産業廃棄物の処理

3：生涯を通じる健康

教育実習生担当領域

1：現代社会と健康

2 生活行動と健康

- ・喫煙や飲酒，薬物乱用と健康
- ・医薬品と健康

4：集団の健康

1 疾病予防活動

- ・感染症の予防活動
- ・生活習慣病の予防活動

2 環境衛生活動と食品衛生活動

- ・食品衛生活動

応急処置については消防署の救急隊による実技講習を7月にクラス単位でそれぞれ1時間実施している。

上記のような年間学習計画により，2学期後半から課題学習に取り組み模擬授業による発表を行っている。

3 研究の内容

(1) オリエンテーション

始めにオリエンテーションを行い，各自の課題を設定して，これから実施する課題学習について説明を行った。研究レポートを作成して行くわけであるが，最終的にはそれをもとにしてクラスメートの前で模擬授業を行う事を強調した。ここではレポート作成と授業（発表）とはかなり違うという事にもふれた。それを克服するために，中間発表で他のグループの生徒から質問を受けたり，発表への内容確認をする事を伝えた。

(2) テーマの決定

テーマについては保健に関係のある分野から生徒自身で決定させ，いろいろなテーマが選択されるようにした。より身近でしかもタイムリーな話題が資料収集もしやすく他の生徒にも興味関心を持って聞いてもらえる事は言うまでもない。

(3) 課題学習の進め方

レポート作成および発表については2名ないし3名のグループ研究発表とした。レポート作成時間には5時間をあてた。各生徒には授業記録ノートを持たせて，各時間の活動内容を記録させた。発表は原則として20分としたが，3人グループなどのところや指導案をみて内容が豊富なグループについては，それ以上の時間を使用したところもあった。

(4) 学習資料

資料収集には図書館・保健室・各教官室の書籍およびインターネットを利用した。インターネットでは初回にアドレスを記録する事をアドバイスし，参考文献の欄にも残しておく事を指導した。

(5) 中間発表

5時間のレポート作成期間の後に，複数のグループにわかれて中間発表を行った。ここでは，模擬授業のリハーサルではなく，各グループが何を調べ相手に何を伝えたいのかという事の確認作業をした。ここで簡単な評価用紙を配布して質問事項やコメン

トを記入させ、模擬授業に反映できるようにした。

(6) 模擬授業計画書の作成

次に発表が単なるレポートの読み上げで終わることのないように意識づけを強めるため、模擬授業の計画書を作成した。ここではより具体的に板書計画や配布プリントなどについて記入するようにした。時間配分についても記入させ、グループ内での担当の分担についても明確にした。

(7) 模擬授業

発表に使用した時間は合計で10時間であった。板書・実物投影機・ビデオなどを利用して視覚に訴えたグループも多かった。模擬授業では、いくつかの項目をあげたチェック用紙を配布して相互評価を実施した。

(8) 評価

中間発表時においては6～7人のグループで相互評価を行った。レポートの内容・科学性・わかりやすさ等を評価対象とした。相互評価での質問や授業づくりのアドバイスは発表者に還元するようにした。

模擬授業についてはクラス全員が、新たな知識の提示や話題性、科学的分析、授業の工夫、説得力等について評価を行った。

授業終了後に各自の成果および準備段階からの計画と実践について自己評価を行った。あわせて課題学習について一斉授業と比較しながら評価させた。

4 研究の結果

(1) グループ別テーマ一覧

生徒らは、種々の興味、観点からテーマを決め、まとめている。指導要領などによる項目で分類をしたが、内容的には、いくつかの項目にまたがったものもあって分類には問題のあるものもある。

* テーマ題目の後の () は班員の人数

◎指導要領による分類	
1 現代社会と健康	計17本, 40名
1 健康の考え方	
2 生活行動と健康	3本, 7名
健康「運動・栄養・休養」(3)	
薬物(2)	
虫歯(2)	
3 精神の健康	14本, 33名
ストレスと健康(2)	
トラウマ(2)	
右脳と左脳(3)	
睡眠と夢(3)	
睡眠(3)	
催眠術(2)	
恋愛と心(2)	
夢—なぜ夢をみるのか(2)	
人格(2)	
精神病(3)	
アルツハイマー(2)	
ポケの美学(2)	
天才はつくられるのか(2)	
拒食症(3)	
4 交通安全	

2 環境と健康	計5本, 13名
1 環境の汚染と健康	5本, 13名
放射線(2)	
放射能被ばくについて(2)	
環境問題(3)	
身近に潜む毒物(3)	
人に害を及ぼす生物(3)	
2 環境の調和と健康	
3 生涯を通じる健康	
1 家庭生活と健康	
2 職業生活と健康	

4 集団の健康		計17本, 37名
1 疾病予防活動		14本, 31名
AIDSについて (2) HIV (2) エイズについて (2) 感染症 HIV (2) がん・脳腫瘍・白血病 (3) 結核 (2) 感染症 VOL4 (3) インフルエンザについて (2) かぜ (2) 胃潰瘍 (2) 肥満とダイエット (2) 生活習慣病 (3) 肥満対策 (2) 動脈硬化 (2)		
2 環境衛生活動と食品衛生活動		2本, 4名
健康食品 (2) 健康食品 (2)		
3 保健・医療の制度		1本, 2名
健康協力活動 (2)		

◎その他の分類		計13本, 31名
バイオエシックス		6本, 15名
骨髄移植について (2) 東洋医学 (3)		
移植 (2) DNA (3) 改造人間 (2) 血液 (3)		
美容		6本, 14名
お肌と健康 (2) 日焼け (3) 美白 (2) 皮膚について (3) 足の健康 (2) ハゲについて (2)		
スポーツ科学		1本, 2名
W - Up とクーリングダウン (2)		

総計52本, 121名

(2) 自己評価 …… レポート作成, 模擬授業
全体について (記述式)

『一番難しかったこと』『苦勞したこと』

※研究について

資料探し, 資料集め	40名 (33%)
資料の選択, 整理	38名 (31%)
難解な文献, 文章の理解	12名 (10%)
テーマ	13名 (11%)
レポートのまとめ方	6名 (5%)
自分の考えを入れること	2名 (2%)

※授業づくりについて

授業の構成, 計画	32名 (26%)
生徒の興味関心を引き出す	26名 (21%)
研究の内容を授業用に精選すること	23名 (19%)
わかりやすく説明すること	27名 (22%)
時間配分	9名 (7%)
身近な話題にすること	4名 (3%)
生徒参加型にすること	6名 (5%)
自分の考えをどう盛り込むか	4名 (3%)
聞き手の立場になること	4名 (3%)

※指導の方法について

話し方 (話し言葉, アイコンタクト, 速度)	19名 (16%)
資料プリントの作成	11名 (9%)
板書の方法	9名 (7%)
ユーモアを交えること	3名 (2%)
問いかけ	3名 (2%)

『工夫したこと』

資料プリントづくり	51名 (42%)
板書 (表し方, タイミング)	19名 (16%)
授業の組み立て	15名 (12%)
実習, 実験, 実技, アンケート	10名 (8%)

補助教材（掲示物，実物見本）	9名（7%）
興味を持たせる	9名（7%）
飽きさせない	9名（7%）
呼名し，発言させる	8名（7%）
話し方	7名（6%）
難しい語をわかりやすく説明する	6名（5%）
情報収集	5名（4%）
豊富な内容	5名（4%）
具体例などで説明する	4名（3%）
考えさせるようにした	2名（2%）
自分の意見を入れた	1名（1%）
導入の工夫	1名（1%）
視聴覚機材の利用	1名（1%）

『良かったこと』『得たこと』

授業の内容をわかってもらうにはどうするか 考えた事。教える難しさを経験した事。	39名（32%）
知識を得たこと	26名（21%）
人前で話す経験になった	18名（15%）
理解を深めた。再認識した	17名（14%）
準備の大切さ，大変な事がわかった	11名（9%）
皆がわかってくれた	8名（7%）
自分の話す力（スピーチ力）がわかった	6名（5%）
皆の役に立った	5名（4%）
自分の意見が言えた	4名（3%）
新たな自己の理解	3名（2%）
楽しく活動できた	3名（2%）
自分の生活を変えたい	
いろいろ意見を得た	
新鮮だった	
インターネットの凄さを実感	
皆の笑いをとれた	
個性がわかった	以上1名（1%）

（3）相互評価 …… 中間発表，模擬授業

『中間発表』

授業づくりを想定しながら，各自が研究レポートの発表を行う。小グループで5項目（レポートの一貫性，内容の質，量，科学性，わかりやすさ）について3段階に評価する。さらに，質問事項と授業づくりへのアドバイスやコメントを入れる。

『質問事項，コメントの実際』

☐…コメント 質…質問

テーマ

『天才はつくられるか』

☐ イメージトレーニングを授業でやればよいのではないのでしょうか。

質 左脳教育を受けられるのは本当に幸せなのでしょうか。

『多重人格の理論と治療法』

☐ 興味深いテーマです。すごく非現実的で不思議です。詳しく知りたいです。

☐ 右脳教育について，内容等に誤解がないようにくわしく説明する必要があると思う。

『痴呆』

質 痴呆を防ぐのに指を動かすといい，というのは本当ですか。

☐ 皆にはあまり興味の無い事の為，授業の際には，興味を引き付ける努力がいると思う。

『クールダウン』

質 アイシングはどうやるの？
ストレッチは重要か？

☐ クールダウンの必要性，クールダウンをしない場合の危険性をアピールすると印象に残る授業になると思う。グラフを使ったらすごくわかりやすくなりそう。

『夢』

☐ 実際に夢判断を授業の時に紹介したらいいと思います。

『トラウマ』

- 【質】 肉体的な傷に比べ、心の傷はどのくらい治りにくいのですか。
- 【コ】 ト라우マか PTSD の定義が多いようなので、具体的な例をあげて説明するとわかりやすいと思います。

『模擬授業後』

模擬授業について、授業内容（新たな知識や発見があったか、内容、量、科学性）と授業の工夫や展開についての10項目を3段階に評価する。また、授業から『学んだこと』『感想』を自由記述し、ふさわしい賞を命名する。これらは、そのまま授業者に渡す。

事例 『中間発表の相互評価から模擬授業がつけられる』

テーマ（美白）

【中間発表時の相互評価】

- ・男子も興味もてるような内容にしてくれたらいいのですが。
- ・多分目的は〔どう美白を作るか〕なんだろうけど具体的にどうすればいいのか、というのが不明瞭で少々わかりにくい。
- ・美白に興味がある人は多いと思うから、実用的な事を入れるといいと思う。
- ・〔美白になるには…〕というのをもっと設けたらいいと思います。



模擬授業



模擬授業後の自己評価

『一番うまくいったこと』

中間発表の時に言われたアドバイスを生かした事

『一番難しかったこと』

女子はわりと興味を持ってくれるテーマだったけど、男子にはどう興味を持たせるかということ。

『一番工夫したこと』『一番苦労したこと』

指名して意見を求めること。

難しい用語をできるだけ皆にわかりやすく説明するために、何度もインターネットや辞書で調べたこと。

【模擬授業後の相互評価】

『学んだこと』『感想』

用語説明は、けっこうおもしろかった。

これからがんばって美白を実践してみます。

幾人かから意見を聞いたのが良かったです。

男も美白が必要になってくるんじゃないでしょうか。

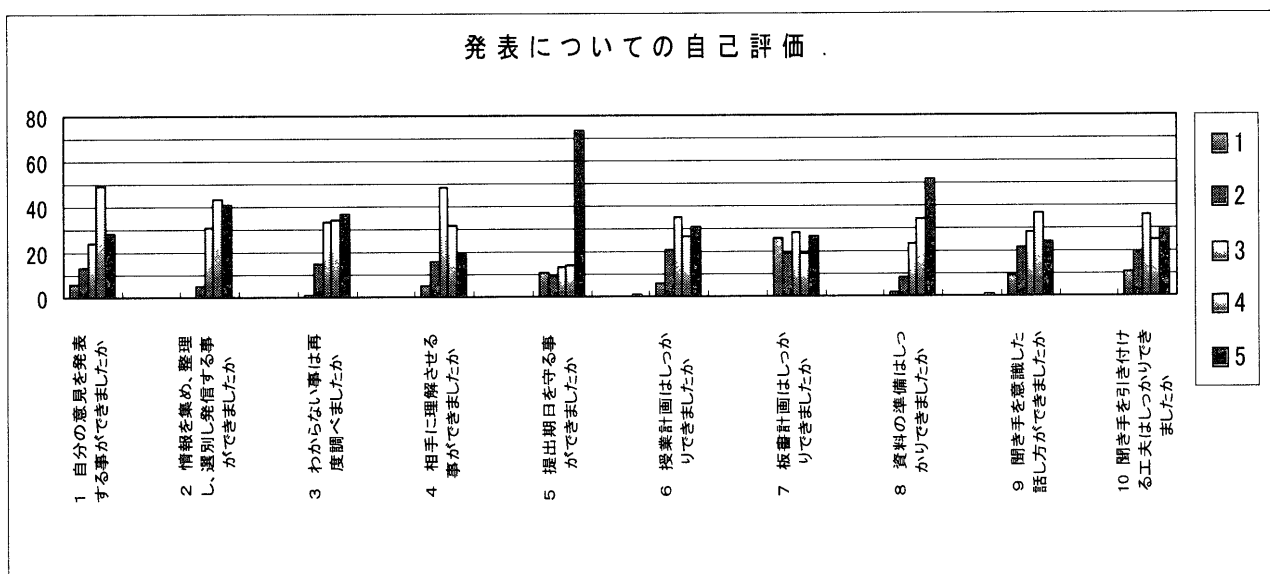
具体的な方法が出ていい内容だったと思います。

(4) 総合評価

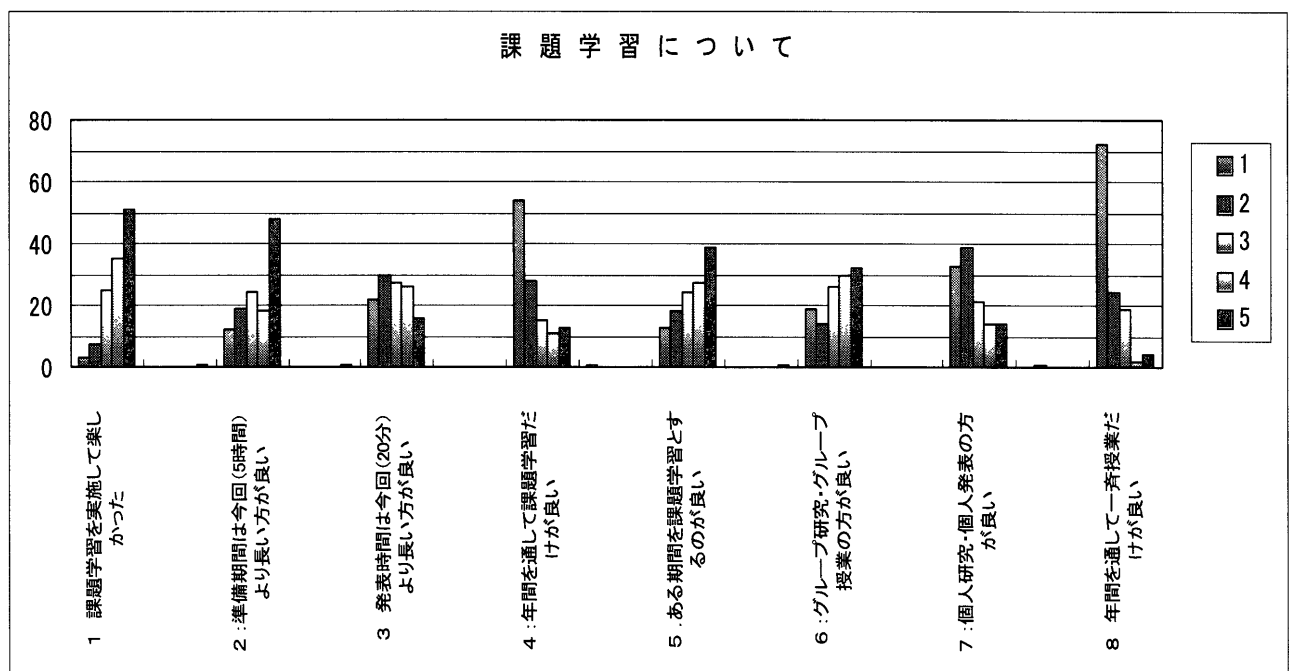
生徒の自己評価、相互評価、教師の評価を得点化して総合評価を行う。

53回生保健課題学習自己評価

発表について	そう思わない1	2	そう思う3	4	強く思う5	合計
1：自分の意見を発表する事ができましたか	6 5.0%	13 10.8%	24 20.0%	49 40.8%	28 23.3%	120
2：情報を集め、整理し、選別し発信する事ができましたか	0 0.0%	5 4.2%	31 25.8%	43 35.8%	41 34.2%	120
3：わからない事は再度調べましたか	1 0.8%	15 12.5%	33 27.5%	34 28.3%	37 30.8%	120
4：相手に理解させる事ができましたか	5 4.2%	16 13.3%	48 40.0%	32 26.7%	19 15.8%	120
5：提出期日を守る事ができましたか	11 9.2%	9 7.5%	13 10.8%	14 11.7%	73 60.8%	120
6：授業計画はしっかりできましたか	6 5.0%	21 17.5%	35 29.2%	27 22.5%	31 25.8%	120
7：板書計画はしっかりできましたか	26 21.8%	19 16.0%	28 23.5%	19 16.0%	27 22.7%	119
8：資料の準備はしっかりできましたか	2 1.7%	8 6.7%	23 19.3%	34 28.6%	52 43.7%	119
9：聞き手を意識した話し方ができましたか	9 7.5%	22 18.3%	28 23.3%	37 30.8%	24 20.0%	120
10：聞き手を引き付ける工夫はしっかりできましたか	11 9.2%	19 15.8%	36 30.0%	25 20.8%	29 24.2%	120



課題学習について	そう思わない1	2	3	4	強く思う5	合計
1：課題学習を実施して楽しかった	3	7	25	35	51	121
	2.5%	5.8%	20.7%	28.9%	42.1%	
2：準備期間は今回(5時間)より長い方が良い	12	19	24	18	48	121
	9.9%	15.7%	19.8%	14.9%	39.7%	
3：発表時間は今回(20分)より長い方が良い	22	30	27	26	16	121
	18.2%	24.8%	22.3%	21.5%	13.2%	
4：年間を通して課題学習だけが良い	54	28	15	11	13	121
	44.6%	23.1%	12.4%	9.1%	10.7%	
5：ある期間を課題学習とするのが良い	13	18	24	27	39	121
	10.7%	14.9%	19.8%	22.3%	32.2%	
6：グループ研究・グループ授業の方が良い	19	14	26	30	32	121
	15.7%	11.6%	21.5%	24.8%	26.4%	
7：個人研究・個人発表の方が良い	33	39	21	14	14	121
	27.3%	32.2%	17.4%	11.6%	11.6%	
8：年間を通して一斉授業だけが良い	72	24	19	2	4	121
	59.5%	19.8%	15.7%	1.7%	3.3%	



5 まとめ

(1) 成果

①教師主導型授業と生徒追及型授業のバランス

“ある期間を課題学習とするのが良い”	肯定 74%
“年間を通して一斉授業だけがよい”	肯定 21%
生徒の課題の分類	
・教師主導型授業で学習した分野	
「現代社会と健康」分野	17本 (33%)
「環境と健康」分野	5本 (10%)
「集団の健康」分野	16本 (31%)
・学習していない分野	
「バイオエシックス」分野	6本 (12%)
「美容」分野	6本 (12%)
「スポーツ科学」	1本 (2%)
“(課題学習の) 準備期間は今回 (5時間) より長い方がよい”	肯定 75%

生徒は、このような保健学習に肯定的であり、教師による授業で学んだ分野から課題のテーマを選択している生徒が3/4ほどであった。

授業時数のバランスについては、課題の研究のために、より時数のある方がいいという生徒が3/4ほどであった。

②課題学習による生徒の学習意欲

“課題学習を実施して楽しかったか”	肯定 92%
“自分の意見を発表することができましたか”	肯定 84%

課題学習の取り組み状況は、概ね積極的で意欲的であった。後半の模擬授業の取り組みは、全員が熱心に授業の組み立てを考え、工夫を凝らした。

③相互教育力を生かし、高め合う。

“グループ研究・グループ授業の方が良い”	肯定 72%
“相手に理解させることができましたか”	肯定 83%

課題学習は2 - 3人の人数で行うことを原則としたのでテーマ決定・研究調査の分担から、パートナーや仲間と協力していた。また、中間発表では、他のグループから質問や意見を受けることで模擬授業へのアドバイスを受け、本番に生かしていた。

④情報、資料の収集と活用

“情報を集め、整理し、選別し発信することができましたか”	肯定 96%
“わからないことは、再度調べましたか”	肯定 87%
“資料の準備は、しっかりできましたか”	肯定 92%

年ごとに資料の収集はインターネットの利用が増え、主力となってきている。インターネットの情報量は膨大であり、中には信憑性に乏しいものもあり、生徒自身もその問題点を上げている。しかし、情報処理については、複数での学習でもあり、積極的に行われていた。

(2) 課題

①教師主導型授業の学習内容の検討と、課題学習との時間的バランスの検討。

課題学習が、実験や体験等を含む内容となる場合、もっと時数が必要と考えられる。教師主導型授業の内容精選とあわせ、検討する必要がある。

②課題学習での教師の支援

課題学習全体で、教師がどのように、いつ支援

していくかは重要な点である。とくに、課題設定時のおさえは、模擬授業の成果にまでかかわるものであり、課題の具体的なチェックカード等の工夫をしたい。

③評価

中間発表時の相互評価等で、生徒同士がより高め合えるよう、形成的評価を充実させたい。そのために、毎時の授業の記録、模擬授業後の評価等を通して評価する力量をつけるために、的確な評価方法・カードをさらに研究する必要がある。

資料 1

保健授業ノート

(1)

(1) テーマ

(2) 目的

(3) 学習のパートナー

()

()

(4) 参考文献及び資料

①

②

③

④

⑤

1 学年	組	番
------	---	---

保健学習計画 ～ レポートから模擬授業へ～ (2)

(1) 目的

一人ひとりが学習の課題を保健分野 (健康問題) から求め、資料の収集や文献の研究等をもとに科学的論理性に基づいて課題を解決する。

(2) 内容

・ 2 学期 個人レポートの作成

2～3 人で共通の課題を決定し、分担してレポートを作成する。
レポートの相互評価を行う。

・ 3 学期 模擬授業

課題の内容をもとに 20 分の授業を行う。授業の評価を行う。

(3) 日程

回	月 日	学 習 活 動
1	10 月 20 日	オリエンテーション
2	27 日	テーマの選択・パートナーの決定・内容と分担の打合せ
3	11 月 6 日	個人レポートの作成 (資料収集・文献研究)
4	6 日	
5	10 日	
6	17 日	レポートの見直し

7	20 日	個人レポートの完成
8	20 日	協力グループでの中間発表会
9	24 日	
10	12 月 1 日	模擬授業の計画書作成

3 学期

1	1 月 12 日	模擬授業打合せ
2	1 月 19 日	模擬授業
	～	
12	2 月 23 日	模擬授業
13	3 月 1 日	まとめ

(4) レポートの内容

- ① レポートは、テーマ・I 目的・II 方法・III 結果と考察 にするとよい。
- ② 提出は、所定の用紙 4 枚以上もしくは、ワープロの場合は B5 版 (38 字×25 行) にまとめる。

(5) レポート作成上のチェックポイント

- ① 「なぜ、どうして」という問題意識や疑問、目的が一貫していますか。
- ② 少なくとも 3 つ以上の資料・文献に基づいていますか。
- ③ 統計資料は、最近 5 年以内のものでしょうか。
- ④ 図や表も取り入れ、自分の言葉や表現にしていますか。
- ⑤ 自分の考えや意見で述べていますか。

授業の記録

(3)

授業後に、記入して担当の先生に提出してください。

回	月 日	活 動 の 記 録
1	月 日	
2	月 日	
3	月 日	
4	月 日	
5	月 日	

資料 2

保健課題学習 中間発表 評価用紙

1年 () 組 () 番 記入者 ()
 レポート発表者氏名

テーマ『 』について

チェックポイント	そう思わない	そう思う	強くそう思う
1 動機・目的がはっきりしている。	+	+	+
2 内容が豊富であった。	+	+	+
3 科学的に分析されていた。	+	+	+
4 知的欲求を満たしてくれた。	+	+	+
5 発表者がわかりやすかった。	+	+	+
【質問事項】			
----- 切り取り線 -----			
(テーマ) 『 』発表者氏名			
【コメント】 (授業作りにつながるように)			

資料 3

第 53 回生 保健課題学習 相互評価用紙

____月 ____日()

1年()組()番 記入者 _____

テーマ [_____] について

授業者 _____

チェックポイント	そう思わない		そう思う		強くそう思う
1 考えさせられたことが多かった	1	2	3	4	5
2 新たに知ったことが多かった	1	2	3	4	5
3 興味深かった	1	2	3	4	5
4 内容が豊富であった	1	2	3	4	5
5 科学的に分析されていた	1	2	3	4	5
6 授業に説得力があった	1	2	3	4	5
7 授業者の主題・意図がわかった	1	2	3	4	5
8 話しぶりがわかり易かった	1	2	3	4	5
9 資料・板書が工夫されていた	1	2	3	4	5
10 計画的で手順が良かった	1	2	3	4	5
この授業にふさわしい賞を考えてください『 _____ 』					
<u>この授業から学んだこと</u>					
<u>この授業に対する感想</u>					

資料 4

53 回生 保健課題学習 自己評価用紙

1 年()組()番 記入者 _____

I テーマ [] の発表について

チェックポイント	そう思わない	そう思う	強くそう思う		
1 自分の意見を発表することができたか	1	2	3	4	5
2 情報を集め、整理し、選別し発信することができましたか	1	2	3	4	5
3 わからない事は再度調べましたか	1	2	3	4	5
4 相手に理解させることができましたか	1	2	3	4	5
5 提出期日を守ることができましたか	1	2	3	4	5
6 授業計画はしっかりできましたか	1	2	3	4	5
7 板書計画は、しっかりできましたか	1	2	3	4	5
8 資料の準備はしっかりできましたか	1	2	3	4	5
9 聞き手を意識した話し方ができましたか	1	2	3	4	5
10 聞き手を引付ける工夫はしっかりできましたか	1	2	3	4	5

II 課題学習について

チェックポイント	そう思わない	そう思う	強くそう思う		
1 課題学習を実施して楽しかった	1	2	3	4	5
2 準備期間は今回(5 時間)より長い方が 良い	1	2	3	4	5
3 発表時間は今回(20 分)より長い方が良 い	1	2	3	4	5
4 年間を通して課題学習だけが良い	1	2	3	4	5
5 ある期間を課題学習とするのが良い	1	2	3	4	5
6 グループ研究・グループ授業の方が良 い	1	2	3	4	5
7 個人研究・個人発表の方が良い	1	2	3	4	5
8 年間を通して一斉授業だけが良い	1	2	3	4	5

Ⅳ 今回の課題学習のレポート作成・発表を経験して感じたことや、さらに良い内容、発表にするにはどうすれば良いと思いますか、また、次の学年が実施するため、どのように実施したら良いと思いますか、思うところを書いてください。

*一番難しかったこと

*一番苦労したこと

*一番工夫したこと

*一番うまくいったこと

*一番うまくいかなかったこと

*発表してよかったこと、得たこと

*更により内容、発表にするためにはどうすればよいと思いますか

資料 5

平成11年度 保健課題学習相互評価一覽

組番	氏名	班	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計	平均	標偏差	順位					
																		37	38	39	40	41				
																		29	28	35	31	40	1274	36.40	5.50	8
																		28	44	32	—	44	1360	37.78	5.83	1
																		26	29	29	31	38	1096	28.84	6.23	40
																		32	28	28	32	42	1286	34.76	4.64	23
																		26	30	30	29	42	1213	33.69	6.12	33
																		29	35	33	42	40	1338	35.21	5.53	16
																		31	36	34	26	42	1353	34.69	5.41	25
																		29	28	30	31	—	1286	33.84	6.00	32
																		29	28	35	31	40	1274	36.40	5.50	8
																		33	33	30	35	41	1387	35.56	5.35	12
																		26	30	30	29	42	1213	33.69	6.12	33
																		32	32	33	32	39	1145	31.81	4.89	38
																		29	35	33	42	40	1338	35.21	5.53	16
																		32	32	33	32	39	1145	31.81	4.89	38
																		32	28	28	32	42	1286	34.76	4.64	23
																		31	34	29	32	—	1331	35.03	5.33	19
																		34	34	42	41	41	1323	35.76	4.77	11
																		33	29	36	44	41	1373	37.11	4.66	4
																		33	29	36	44	41	1373	37.11	4.66	4
																		29	28	35	31	40	1274	36.40	5.50	8
																		26	29	29	31	38	1096	28.84	6.23	40
																		31	39	32	30	46	1327	36.86	4.91	6
																		30	—	29	32	45	1296	34.11	5.21	27
																		28	44	32	—	44	1360	37.78	5.83	1
																		—	28	32	33	41	1192	34.06	4.23	29
																		31	36	34	26	42	1353	34.69	5.41	25
																		—	28	32	33	41	1192	34.06	4.23	29
																		30	—	29	32	45	1296	34.11	5.21	27
																		29	31	—	32	39	1200	32.43	5.03	36
																		28	44	32	—	44	1360	37.78	5.83	1
																		31	34	29	32	—	1331	35.03	5.33	19
																		29.7	32.6	32.5	34.0	41.4		34.73	5.36	

* この表は、平成11年度に実施した保健課題学習の模擬授業の相互評価の一覽の一部